

令和6年3月5日(火)

鴨の水掻き

喜入中学校の皆さんは、鴨^{かも}という鳥を知っていますか。鴨の一種であるアイガモは、野生のマガモとアヒルとを交雑^{こうざつ}交配^{こうはい}させた鳥です。『アイガモ農業』として水田の除草に用いられたり、食用になったりもします。理科室前の廊下掲示板に貼っている「理科教育ニュース」では、水上で群れで回ってエサを巻き上げ食べる習性を持つ「ハシビロガモ」を紹介しています。

さて、『鴨の水掻き』とは、気楽そうにのんびりと浮かんでいるように見える鴨も、水面の下では水かきを絶えず動かしていることにちなみ、人知れない苦労があることから生まれたことわざです。

人は誰も見た目だけでは分からないものです。どんなことでもそつなくこなし、常にテストでは満点近い点数を取っている優等生も、実は家に帰ったら寝る間も惜しんで勉強しているかもしれません。『鴨の水掻き』とは、陰では人知れず努力している人に対して使うことが多いことわざです。

皆さんも、人が見ているところでも、見られていないところでも、精一杯努力しましょう。そして、鴨のようにすまし顔で水面に平然と浮かんでみましょう。そうすることで、人知れず努力していることをカモフラージュできるかも知れませんよ。